

第14回 理事会議事録

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

第14回理事会議事録

1. 開催日 平成29年5月13日(土) 10:09—12:30 休息後 13:30-15:30
2. 開催地 東京都品川区 立正大学品川校舎 9号館 932.933 教室
3. 出席
理事 山西哲郎 村越 真 信原 靖 藤井範久 平島俊次 伊藤好信
齋藤宏顕 荻田育徳 楠見耕介 大里真理子 愛場庸雅 新帯 亮
島津 弘 藤島由宇 茅野耕治 羽鳥和重 瀬川 出(小泉知貴代)
欠席 木村佳司 高野由紀
監事 尾上秀雄 (欠席)齋藤和助
記録 新帯 亮 高村 卓
同席 柴田達真 酒井克明
4. 議長 定款に従い、山西会長が議長となり開会した
5. 議事録署名人 定款に従い、山西会長、尾上監事を指名した。

審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告書

事務局から、28年度の事業報告を報告書に基づいて説明した。字句及び数字等の訂正を行った。
以上、審議の結果、修正箇所等採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

第2号議案 平成28年度決算書について

事務局から、28年度の決算報告を財務諸表に基づいて説明した。27年度と比べ、28年度においては、組織育成費の見直しを行ったことによる会費増。公認大会等で会員より支援を戴いた受取認定料の大幅の増。競技者登録料「一般登録者」の登録料改定による増。経常費用内の各項目で減となったことにより、収支が大きく改善された。
以上、審議の結果、採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

第3号議案 基本財産の取扱いに関する規程及び、基本財産資金運用取扱いに関する細則について

事務局から、基本財産2000万円をキャッシュフロー等に運用することが出来なかったため、第2条に第3項を追加して運用できるように改訂した。
また、運用に関して細則を設け、大切な財産が減らないように運用を行うことにした。
以上、審議の結果、採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

第4号議案 会員支援に関する規程及び会員支援に関するガイドラインについて

平島理事から、28年2月に制定された、規程の改訂案が説明された。第4条第1項に支援金の収集として「JOA 主催大会」を加えた。ガイドラインにおいて参加費に対する支援金の上乗せ対象として、大学生以下は除外することとした。
以上、審議の結果、採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

第5号議案 FISU2020 Ski-O 世界学生選手権の開催について

柴田 Ski-O 委員長から、FISU2020 Ski-O 世界学生選手権大会開催の立候補をJOCに表明することが、提案された。
以上、審議の結果、採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

第6号議案 オフシャルパートナー規程について

大里理事から、現在のJOAにおいて、オフシャルパートナーに関する規程がなく、協賛をお願いするにも根拠がない、そのため制度を整え新たにオフシャルパートナーと契約を結べるようにしたいと説明された。

以上、審議の結果、一部語句の修正を行い、採決を行い出席理事17名全員が賛成し承認された。

討議及び報告事項

1. 村越業務執行理事から、理事会・事務局便りを5月中旬に発行予定と説明。
2. 平島理事から、ワールドマスターゲームス2021の準備状況について説明。
3. 木村理事からの全日本大会の年齢規定変更案を説明。
4. 酒井指導者規程改訂検討会から、日本体育協会の公認スポーツ指導者制度の移行等の準備関係について説明。
5. 村越理事から、ナビゲーション・インストラクター制度とその規程案について説明。
6. 村越理事から、表彰制度に関して、選手や功労者に加え、優れた大会、地図、活動を行った人なども表彰に加えてはと説明。
7. 村越理事から、来年度(29年度)の所信表明を総会にて行うこととその内容(案)について説明。
8. 事務局から、クラブ認定に関する規程について説明し、次回理事会にて検討することになった。
9. 事務局から、新日本体育協会会館について説明した。落成は2019年5月予定、事務局の引っ越しは同年7月頃では、費用等についてはまだ未定と説明した。
10. 事務局から、事務局員の労働単価を100円あげたいと説明した。内規など明文化した形で次回に承認することが了解された。

以上

第14回理事会 平成29年5月13日

公益社団法人日本オリエンテering協会

議事録署名人 尾上 秀雄

印

理事会議長 山西 哲郎

印
